



 株式会社 **屋根技術研究所**

卒業課題（リクルート用パンフレット制作）
「On the roof」 （オンザ・ルーフ）

上岡研究室
D14069 平田優哉

発表の流れ

- 株式会社 屋根技術研究所さまの紹介
- ご要望の内容
- スケジュール概要
- 株式会社 屋根技術研究所さまの課題
- 制作の目的
- パンフレットのターゲット
- パンフレットのテーマ
- パンフレットのコンセプト
- パンフレットの説明
- 感想

株式会社 屋根技術研究所

沿革

三州瓦の産地 愛知県高浜市。
瓦葺き職人の前社長が、屋根工事請負業
を前身として昭和43年に創業。

現在

- ・ 屋根工事用副資材の研究開発
「金釵釘（きんさくぎ）」
「強力棟（きょうりよくむね）」など、
- ・ 太陽光発電システム架台の研究開発
「支持瓦（しじがわら）」シェア率No,1
- ・ 太陽光発電設備工事
太陽光パネルの設置施工業務。
太陽光メーカー、施工請負業者
への施工講習会の実施



要望

- ・ 業務提携を行なっている
施工請負会社 2 社

群馬県

小林板金工業

岐阜県

フジカケ

若い世代の職人確保



取材・制作工程

第一回 10月26日 顔合わせ、取材①

第二回 11月9日 取材② 取材日程の調整、コンセプト・ターゲット決め

第三回 12月5～7日 現場見学・取材・撮影・インタビュー（岐阜県）

第四回 12月14日 取材・撮影・インタビュー

第五回 1月29日 社内プレゼンテーション

課題

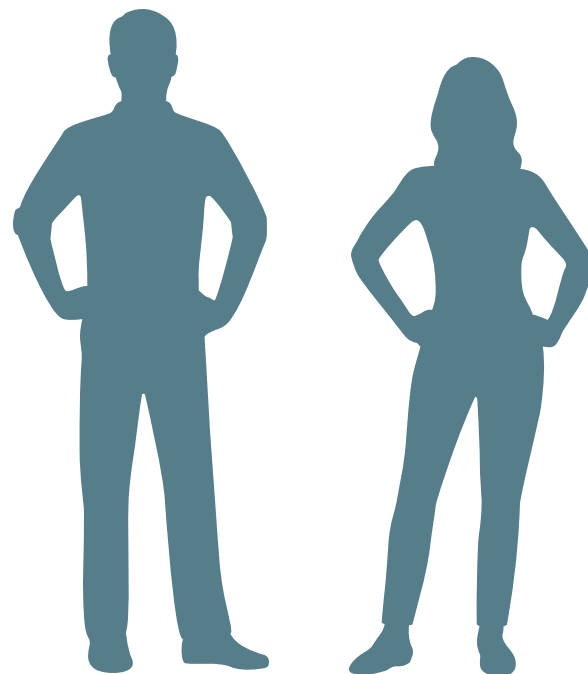
- 現場の人手不足
- 屋根職人という職業の認知度の低さ
- 「厳しい」という現場のイメージ

目的

- 1 ・ 屋根職人という職業に関心を持ってもらう
- 2 ・ 現場は「厳しい」というイメージを転換する
- 3 ・ 転換したイメージにより、入社意欲を高める

ターゲット

10代後半～20代前半の男女



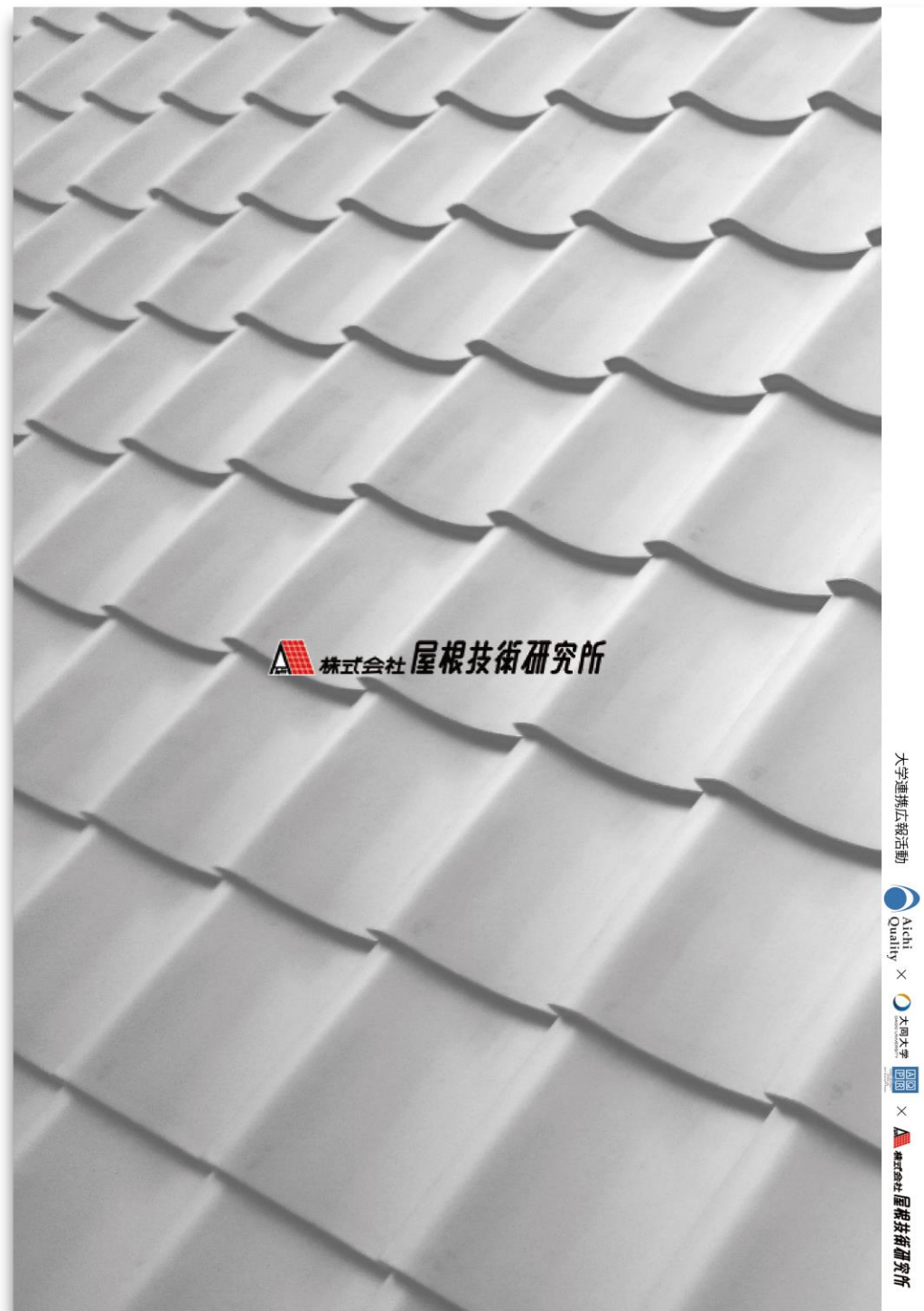
テーマ

屋根の上の職人たち

コンセプト

屋根の上の魅力を写真で伝え、
屋根業界の今を知ってもらう。

パンフレット 表紙・裏表紙

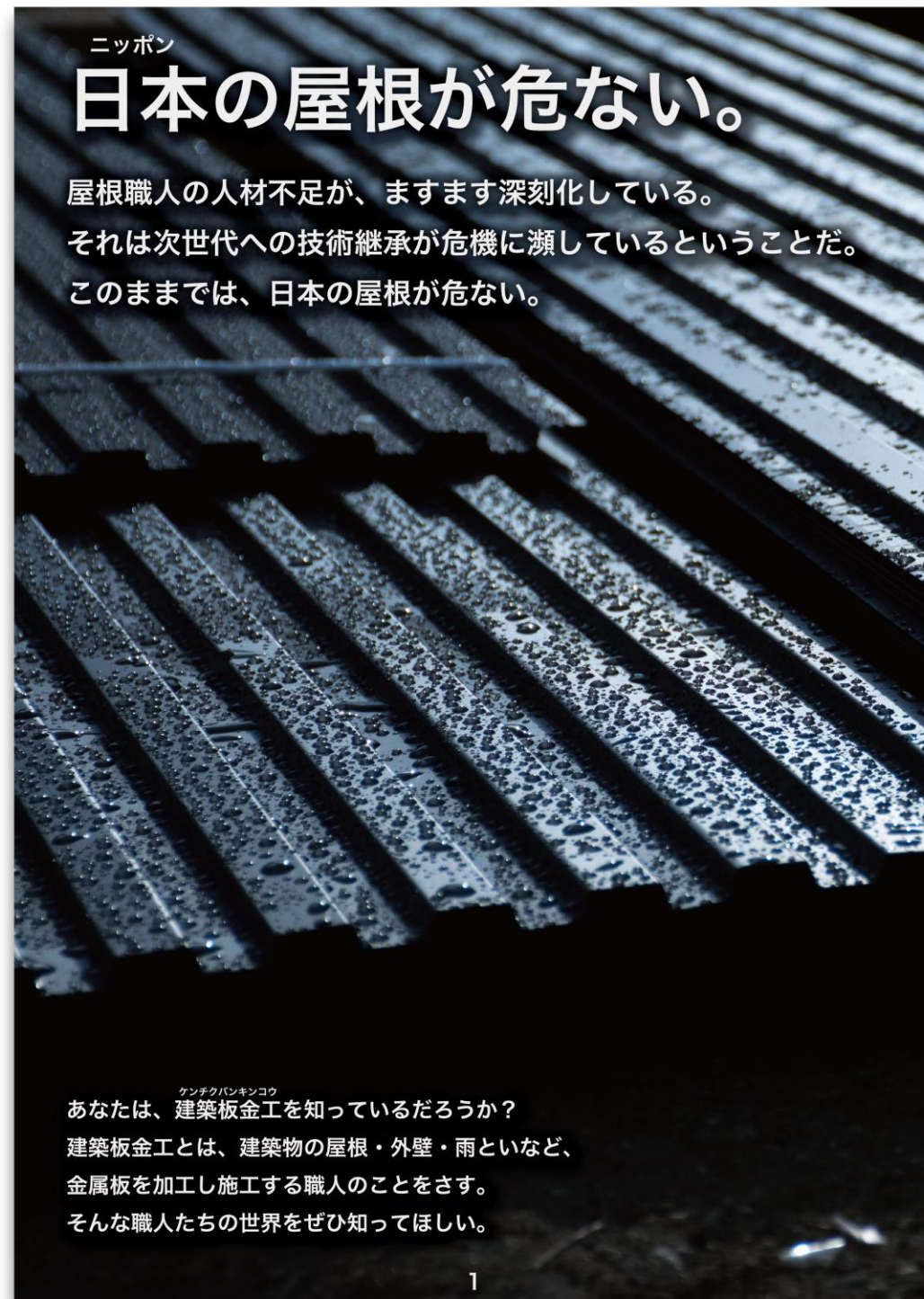


- ・ 背表紙
- ・ 表紙と対照的な写真

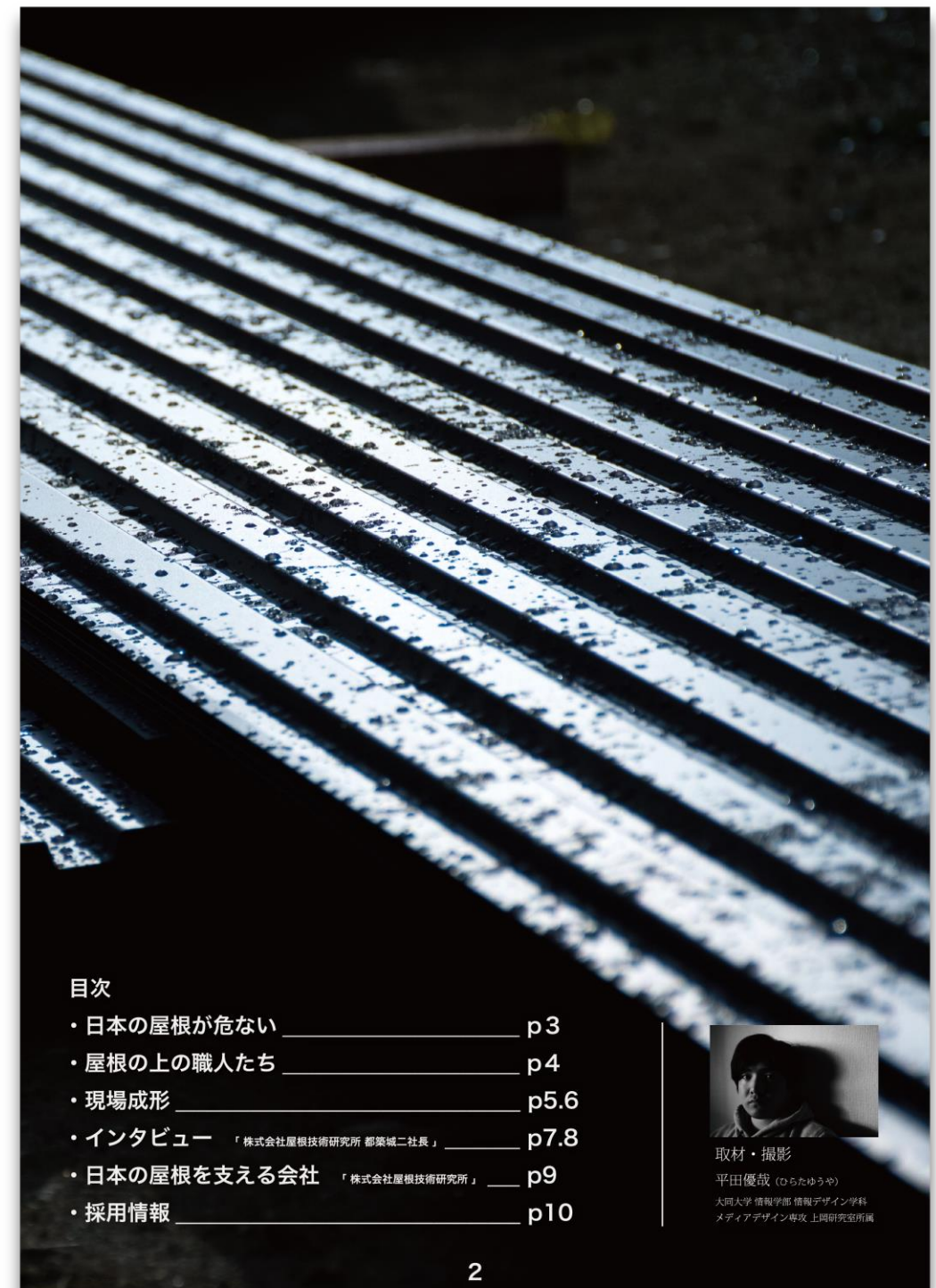


- ・ 雑誌をイメージ
- ・ インパクト

パンフレット P,1 - P,2



- ・インパクトのあるコピー
- ・シリアスな写真



- ・目次とクレジット

パンフレット P,3 - P,4



日本の屋根が危ない

- 職人不足が招く、屋根の危機 -

もしも屋根がなかったら、無くなってしまったら・・・。

いま、屋根業界全体で若き職人が不足している。これから 20 年後、30 年後、このまま屋根職人が少なくなっていっていったら、日本の屋根は一体どうなってしまうのだろう。

職人が減っても屋根が減ることはない。しかし、修理が必要な屋根は増えていく。いつだって屋根職人たちは、私たちの暮らしを守り続けている。そんな屋根職人たちの世界を、ぜひ知ってほしい。

日本の暮らしと屋根

- 暮らしの数だけ屋根がある

私たちの暮らしは多くのものに支えられて成り立っている。安全な食品や暖かい衣服など、さまざまであるが、その中には私たちが住んでいる『家』も入るのではないだろうか。家は、雨風や強い日差しなどの自然環境下から私たちを守ってくれる。しかし、家の役目はそれだけではない。私たちにとって家とは、特別な場所であるといえる。

そんな家もまた、私たちのように屋根や外壁によって雨風から守られているのだ。いま、私たちの暮らしは危機に面している。

3

- ・ 屋根職人の写真
- ・ 前ページのコピーの内容

屋根の上の職人たち

- 間近で見た職人技

屋根の上の職人に混ざって屋根の上に登らせてもらい、その世界を肌で感じる事ができた。外壁の寸法を測り、材料を加工して壁に貼っていく。この一連の行程が手作業で行われていた。その姿を見ていて驚いた。手作業で加工している金属の板が、ピタッと外壁にはまってしまうのだ。それはまさに、職人技だった。

職人の技は簡単にマネできない。一朝一夕で習得できるものではないからこそ、職人という人々は魅力に溢れている。



屋根職人は、暮らしを守る「粋いき」な人たちだった。



現場へ出て、現場を学ぶ

- 営業から一転、現場へ出て職人の道に

元々営業の部署で勤務していた佐藤さんは、現場での経験がなかった。そこで、『現場を学ぶ』ため、自ら現場に出て施工にたずさわようになった。佐藤さんはこう語る。

「現場ではキツイことが多いのは確か。でも、それを運かに上回る『やり甲斐』のある仕事なんだ。」と、笑顔を見せた。「目標は、まず仕事を覚えて、早く一人前になること。」

株式会社 屋根技術研究所 佐藤

4

- ・ 屋根職人インタビュー
- ・ 現場取材のレポート

パンフレット P,5 - P,6



・表紙写真の説明



・作業工程 ・スケールの大きさ

パンフレット P,7 - P,8



・ 社長へのインタビュー



・ 取材した内容
・ 取材内容に合った写真

パンフレット P,9 - P,10

日本の屋根を支える会社

昭和43年の創業以来、50年に及び日本の屋根と共に歩んできました。台風や地震などの自然災害により屋根から瓦が剥げ落ちた惨状を目のあたりにし、従来の施工方法に疑問を抱き、天災に強い屋根の防災工法の研究開発に取り組んできました。

そして、屋根の安全性や耐久性を向上させる数々の屋根副資材や、住まいを長持ちさせる『棟換気』の開発など、快適な住まいづくりの実現に貢献しております。

また近年特に力を入れているのが、環境に優しいクリーンエネルギーである、太陽光発電システムや小形風力発電システムを「支持瓦」をはじめとする、可能な限り安全に屋根に取り付ける方法の研究開発です。

しかし、こうした事業の変化の中でも忘れてはいけないことがあります。それは屋根技術研究所のルーツである、

「**屋根上の困り事を解決する**」ということです。



「屋根技研の 発明の数々」

これまで数多くの開発してきた、屋根工事用副資材を一部紹介します。



支持瓦（しじがわ） 1994～
住宅用太陽光発電システム用架台は、瓦屋根へ従来より安全な設置を可能にした画期的な商品であり、そのシェア率は業界トップを誇ります。



換気くん（かんきくん） 1996～
屋根裏へ湿気や熱がこもらないように、換気を促すことによって、住宅の「高耐久・高寿命化」に対応する換気システムを開発。

株式会社 屋根技術研究所

〒444-1324 愛知県 高浜市 碧海町 2-1-13
Tel：0566-52-6132（技術営業部）
HP：http://www.yanegiken.co.jp/

会社概要：
1968年12月15日 創業
屋根副資材の研究開発・生産・物流
屋根工事請負業務

現場
施工

5000棟という全国屈指の施工実績

「業界屈指の施工実績は、安心と信頼の証」
屋根のプロフェッショナル集団として、安全性・耐久性という屋根本来の機能はもちろん、建物の美観を損なわない設置工事。現場調査からアフターフォローまで徹底したトータルサポート。

研究
開発

業界を牽引する独自の開発力

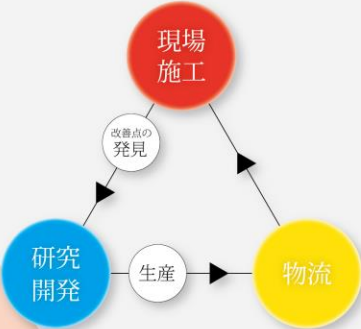
屋根工事請負業で培った経験・知識、お客様のご要望より、「換気くん」をはじめとする屋根工事用副資材と、「支持瓦」をはじめとする太陽光架台の、研究開発・製品検証・施工検証

物流

スピーディーな邸別配送システム

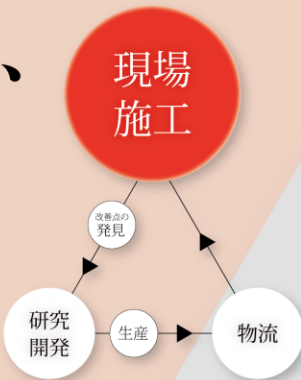
「必要な部材を必要な量、必要な場所へ」。
住宅一棟ごとお届けする態勢を整え、お客様の在庫負担や管理の手間を軽減しています。また、急伸する太陽光発電システム市場を支える一端を担っています。

「屋根技研の 3つの強み」



9

「ゲンバ」を担う、 屋根職人募集



新卒採用情報 【正社員】

・業務内容	大型スーパー、公共施設等の板金屋根工事における施工管理業務。 (工程管理・予算管理・安全品質管理)や取引先との打合せ等の営業業務。
・資格不問	やる気のある方！歓迎いたします。 未経験者でも、施工現場にて丁寧に指導いたします。
・給与	250,000～500,000円 (建築士、建築施工管理技士などの有資格者は賃金優遇あり。)賞与年2回
・勤務時間	8:00～17:30 休日 土(隔週)・日・祝日・夏季・年末年始。(年間休日87日)
・待遇各種	社会保険完備 交通費支給(距離に応じた非課税範囲内、31,600円/月まで)
・勤務地	出向先：〒373-0061 群馬県 太田市 鳥山上町 2355-1 株式会社小林板金工業 〒505-0016 岐阜県美濃加茂市 牧野 1842-1 株式会社フジカケ

10

- ・ 会社概要と主力製品
- ・ 会社の強み

- ・ 採用情報 図を用いて簡略化
- ・ 会社ロゴから背景素材を制作

感想



協力

株式会社 屋根技術研究所

代表取締役社長 都築さま

広報担当 武笠さま

株式会社 フジカケ

代表取締役社長 宮道さま

屋根技術研究所 出向社員 佐藤さま

工事部 松下さま

工事部 宮島さま

ご清聴 ありがとうございます。